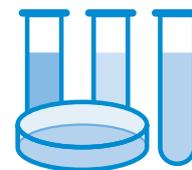


細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

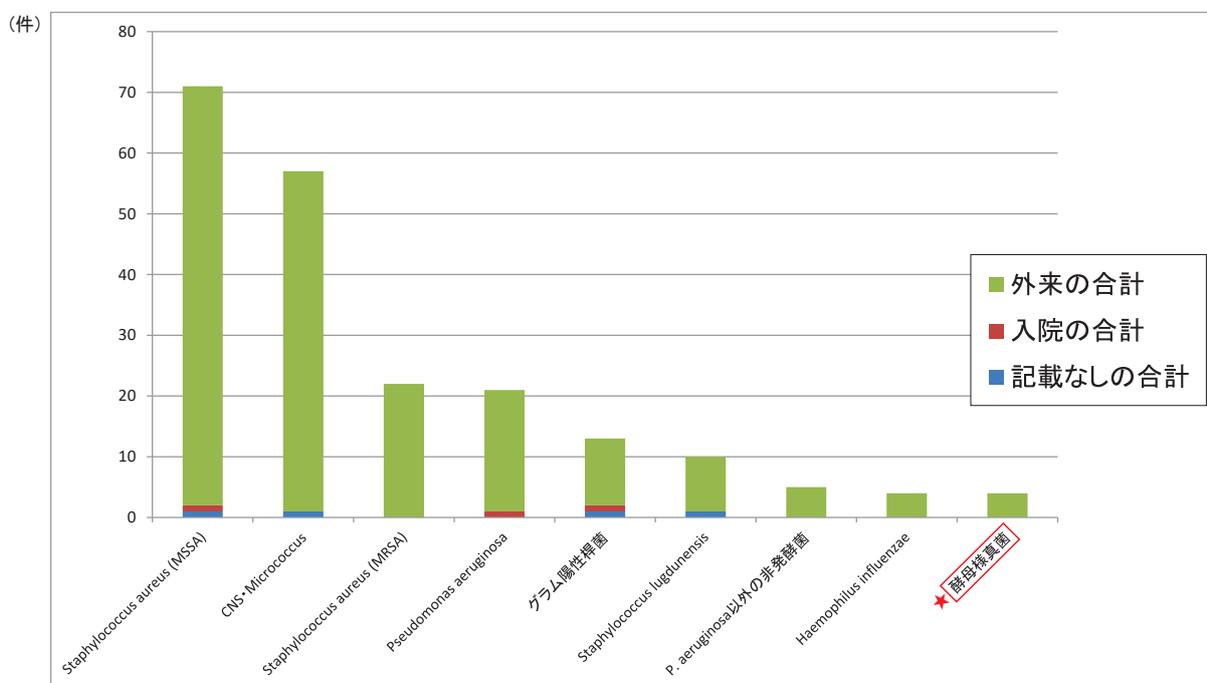


当検査センターで受託した細菌検査における統計資料を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、耳漏の細菌検出状況を掲載いたします。

【細菌検出状況】

【耳漏】細菌検出状況 2022年06月



外耳道真菌症は、骨部外耳道から鼓膜にかけてみられることが多く、耳垢の過剰形成や鼓膜表面の炎症合併に伴う難聴、掻痒感、耳閉感、耳漏、耳痛などの症状があります。

多くはアスペルギルス属菌とカンジダ属菌によるもので、2022年6月に一般細菌培養同定をご依頼の耳漏から酵母様真菌が4件検出されています。また、真菌培養同定をご依頼の耳漏からはアスペルギルス属菌が5件、カンジダ属菌が10件検出されています。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況情報についての情報をご覧ください。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>

検査科微生物係